



No 2785

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗



担当：脇村副委員長

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ  
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>  
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テ  
R  
I  
マ  
世界へのプレゼントになろう  
Be a gift to the world  
世界へのプレゼントになろう

テ  
R  
I  
マ  
奉仕の理想車を走らせよう!!  
Let's drive your ideal car of the service!!

本日のプログラム

平成28年6月16日 第2786回

- ・委員会活動報告の発表
- ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

平成28年6月23日 第2787回

- ・委員会活動報告の発表
- ・ソング：「日も風も星も」

前回の報告（第2785例会）

開催日 平成28年6月9日(木)

点 鐘 (中元会長)

今日の誕生・結婚祝 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

会員誕生：なし  
 夫人誕生：成川恵美さん、岩橋逸子さん、酒井耐子さん  
 上野山千穂さん  
 結婚記念：松村君、中元君

会長の時間 (中元会長)

本日は、「つばめ」についてお話ししたいと思います。ツバメが出てくる子供向けの短編小説で、アイルランド出身のオスカー・ワイルドが書いた「幸福な王子」というお話を皆さんはご存知でしょうか。

あらすじをご紹介します。ある街の柱の上に「幸福な王子」と呼ばれる像が立っていました。かつてこの国で幸福な生活を送りながら若くして死んだ王子を記念して建立されたものでした。両目にはサファイア、腰の剣の装飾には真っ赤なルビー、体は金箔で包まれていました。とても美しい王子は街の人々の自慢でした。ある日、一羽のツバメが王子の足元で寝ようとするやと突然大粒の王子の涙がツバメにふりかかります。驚いたツバメが王子にその理由を尋ねると、王子は自分の目に映るこの街の片隅で苦しむ人々について語り始めました。

そして病気の子供がいる貧しい母親に剣についているルビーを、また飢えた若い劇作家と幼いマッチ売りの少女には両目のサファイアをあげてきてほしいとツバメに頼むのでした。渡り鳥であるツバメはそろそろ南のエジプトへ渡る予定でしたが、王子の言うとおりの宝石を届けます。ツ

バメは街中を飛び回って、両目をなくし目の見えなくなった王子に色々な話を聞かせます。王子はまだ不幸な人々がたくさんいることを知り自分の体の金箔を剥がし、分け与えてほしいとツバメに頼み続けました。やがて冬になり、すっかり弱ってしまったツバメとみすぼらしい姿になった王子が残ります。とうとう力尽きて王子の足元で死んでしまったツバメと王子の像は一緒にゴミ溜めに捨てられてしまいましたが、一部始終を見ていた神によって楽園へ導かれ永遠に幸福に過ごしたというお話です。

この王子のようにまさに自分の身を削って困難にある人々の力になることは、実際非常に難しいことです。しかし、我われロータリアンが、陽の当たらない所で苦しむ人々に、様々な活動を通じて、たとえささやかだとしても、共に考えたり、手を差し伸べる事の大切さを思いださせてくれる物語です。

ツバメといえば、二年ぶりに私の仕事場にツバメの夫婦が来てくれました。二年前にはやっと大きくなったヒナたちが巣立つ直前にカラスに襲われてしまった苦い経験があります。この惨事を乗り越え今年やってきたツバメのヒナが4日前に孵化し、にぎやかな声をたてています。今年こそしっかり巣立つまで無事故であるように、セーフティネットを張って万全の態勢を整えています。

毎年、春にはツバメがやってくるのを心待ちにできるような平穏な社会であることを望みたいものです。

幹事報告 (上野山(栄)幹事)

1. 第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーターより、年次基金寄付推進のお願い。(橋爪(正)R財団委員長へ)
2. 福井ガバナーエレクト事務所より、PET・地区研修協議会記録が届く。
3. ガバナー事務所より熊本地震義援金のお礼が届く
4. 2580地区東京麹町RC「想い出草」が届く。(回覧)

5. 例会変更 (後方掲示)  
 6. 第12回定例理事会報告 6月2日経済クラブにて  
 <報告事項>①国際大会について  
 <協議事項>  
 ①6月度の例会プログラム【承認】  
 ②5月度試算表【承認】  
 ③ロータリーカレッジ収支について【承認】  
 ④新設ホームページと事務局メールアドレスの周知について【承認】  
 ⑤最終例会のプログラムについて【承認】  
 ⑥来週、再来週と委員会の活動報告の時間となりますので、各委員長様ご準備のほどよろしくお願ひします。

ロータリー友誌

(脇村R広報副委員長)

ロータリーの友誌6月号

<横組>

1. RI会長メッセージ P3

RI会長としてのこの1年の経験は、写真や言葉では真に語り尽くせない壮大な任務で、燦然たる火柱となって私の記憶にとどまっています。本年度も終わりに近づき、この素晴らしい組織の一員として更に大きな誇りを感じています。

2. ロータリーの明日 2016年規定審議会レポート

P16~P19

4月10~15日、米国シカゴで規定審議会が開催された。これは3年に1度開催され、ロータリーの規定を改定する国際ロータリーの立法機関である。「ロータリーの歴史の節目に立ち会った」という代表議員がいるほど、今回の規定審議会では多くのことが変わった。

<縦組>

3. 「iPS細胞がひらく新しい医学」 京大iPS細胞研究所 所長・教授 山中伸弥 P4~P8

サンフランシスコ時代、私はいろいろなことを学びましたが、その中で私が一番大切にしている教えが「VW (Vision & Work hard)」です。iPS細胞を使って再生医療と新薬の開発を進めているが、近い将来、患者さんに決め打ちで処方するオーダーメイド医療を実現させたい。

4. 俳壇、柳壇 P22

堺フェニックス 米田眞理子氏  
 堺清陵 物種 唯修氏

5. ロータリーアットワーク P24~P35

- ①韓国の姉妹クラブの例会を初訪問  
 和歌山アゼリアRC  
 ②地元の中学生に仕事についての授業を実施  
 有田RC

委員会報告

\*次年度社会・青少年奉仕委員会(脇村委員長)  
 有田川クリーン作戦が7月3日(日)午前7時~実施されます。出欠をとっていますのでよろしくお願ひします。

出席報告

(應地例会運営委員長)

本日の会員数27名  
 (出席規定免除会員9名)  
 出席会員数21名  
 (出席規定免除会員7名)  
 84.00%  
 5/26 92.31%  
 MU:なし

ニコニコ箱の報告

(中村SAA)

中元君:近畿地方も梅雨入りしたようです。会員の皆様、健康管理よろしくお願ひ致します。  
 上野山(栄)君:昨日、首相公邸に入らせて頂きました。安倍昭恵夫人にもお会いし楽しい時間でした。本日、江川さん、卓話楽しみにしています。  
 松村君:江川真史様、卓話楽しみにしています。  
 江川君:本日、自己紹介も兼ねて卓話させていただきます。よろしくお願ひいたします。  
 嶋田(崇)君:江川さん、卓話ご苦労さまです。本日欠席します。  
 上野山(英)君:江川さん、本日卓話ご苦労様です。  
 児島君:岩橋さん、お世話になりました。江川さん、卓話楽しみです。  
 岩本君:江川様、今日の卓話楽しみにしております。  
 脇村君:江川さんの本日の卓話、大変楽しみです。  
 岩橋君:江川さん、卓話楽しみにしています。  
 上野山(捷)君:江川真史さん、本日の卓話楽しみにしています。  
 石垣君:江川様、卓話楽しみにしています。橋爪(誠)様、写真ありがとうございました。  
 橋爪(誠)君:江川真史様、本日の卓話ががんばって下さい。拝聴します。  
 成川(守)君:江川君、卓話ご苦労さまです。残念ながら会議のため早退します。  
 嶋田(ひ)君:少し良いことがありました。  
 橋本君:今週、娘と孫の誕生日です。孫はもう7才。子供の携帯電話をプレゼントしました。電話かけてきてくれたらうれしいな。  
 井上君:梅雨の季節になりました。店前のあじさいがきれいに咲いています。江川さん、卓話楽しみです。  
 酒井君:江川さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。  
 應地君:江川さん、卓話を楽しみにしています。  
 中村君:江川さん、本日の卓話楽しみです。

卓話

「創業して20年 さまざまな出会い、そして今思うこと」

会員 江川 真史 君

ユニワールドを創業したのは、今からちょうど20年前、平成8年です。大学を卒業後、当時の紀州信用金庫(現在のきのくに信金)で10年間勤め、その後、家内の実家



の富士手袋工業で1年半ほど経験を積み、独立、開業しました。

立ち上げ当初は、売りたいと思う商品を企画し、地元の靴下メーカーや軍手メーカーに協力してもらい、ユニワールドブランドを製造し、近畿一円の作業洋品店に営業を行っていました。そして、ある大阪の作業服屋さんと出会

いました。

大阪の西成地区にあった「やすだ屋」という店で、西成地区は日雇い労働者も多い町でしたので、軍手や軍足など作業用の消耗品が飛ぶように売っていました。そのやすだ屋の社長から、どうせ毎日和歌山から通ってくるならうちで泊まっていつかはどうかと、その代わり、開店と閉店の3時間ずつ店を手伝ってほしいと言われました。うちの商品も好きなだけ置いてもらうことができ、私には願ってもない申し出でしたので、1週間のうち、3泊4日の住み込みアルバイトの生活が始まりました。時給は750円でした。朝5時に店を開けますが、外に多くのお客さんが待っており、毎日とても忙しかったです。このことは、事業を軌道に乗せるうえでとても大きな出会いでした。近年の大手チェーン店の進出で、残念なことに「やすだ屋」は今年の5月で閉店しました。社長は66才になりましたが、この6月15日から、ユニワールドの新社員として来てくれることになっています。給与は昔の恩を考慮して、時給750円プラスαです。

平成11年には、中国の工場自社製品のOEM生産をするということに挑戦しました。最初の頃は、なかなか価格交渉もできず、しばらく低空飛行を続けていたのですが、2年後の平成13年春に、孫小華さんという中国人の方と出会い、ユニワールドの社員として迎えました。最初はどんな人物が観察しようと思っていました。一緒に仕事をしていると、彼は大変実直で、能力も高いことが分かりました。商談の時には、単に通訳するのではなく、心を伝えるということをはかってくれ、工場との間でトラブルが発生した時も、お互いに納得できる解決方法を探してくれました。長年にわたって中国の工場との信頼関係を築いてくれたのは、孫さんのお陰で、今ではなくてはならない存在です。孫さんは今年で60才になりますが、私が退職するまではと、まだまだ一緒に頑張ってくれています。

そして、平成20年には上海の素晴らしい工場と出会いました。吸盤のように吸い付くゴムコーティングした作業手袋を製造しており、その技術の高さに驚きすぐ取引を開始しました。販売も順調に進んでいた時、ある日本の大手の会社から特許を侵害していると内容証明が届きました。他にもその工場から輸入していた日本の会社がたくさんありましたが、なぜかうちの会社だけに言ってきました。その一件で、国内の他社がその商品の取扱いを縮小していく中、これは工場とのパイプを太くする千載一遇のチャンスと考え、法廷で争うことにしました。最終的には最高裁までいき、結果は侵害なし、先方の保有してい

た特許は取り消しということで決着がつけました。その後、工場との関係が一気に深まったことは言うまでもありません。現在は「ワンダーグリップ」というブランド名でその工場の総代理を務め、ユニワールドのメイン商品として大手量販店等を中心に販売しています。

上海の工場との取引は始まる少し前から、「チャイナプラスワン」という言葉をよく聞くようになりました。中国の人的費用や材料費の値上がりによる価格上昇を受け、大手の会社は、ベトナムやインドネシア、タイなどに生産拠点を移して供給リスクの分散を図っていました。わが社も、中国以外の生産拠点を探し、6年前の平成22年に初めてバングラデシュを訪れました。バングラデシュでの生産を始めるために同国を訪問した企業の70%は二度と戻らないと聞きます。私の場合、3回は現地に足を運んでみないと分からないと思い、いろいろとチャレンジしましたが、結局、品質の完成度が低いわりに価格は中国に比べて安くないということが分かりました。そうこうして、何も前に進んでいなかったのですが、突然1年前にバングラデシュでお世話になったイスラムさんに再会し、工場を作る土地を借りられることになりました。首都ダッカではなく、マグラという100万人の町で、1軒の縫製工場もないような場所でした。ミシンを見るのも初めて、外に出て働くことも初めての人ばかりの中スタートしました。仕事をするとはいか、商品はどうなっていないかならぬかというところから指導してくれたイスラムさんは大変な苦勞をされたと思います。最近ようやく、生産も順調になり、社員もユニワールドバングラデシュで勤務するというに誇りを感じて仕事をしてくれているように感じます。

平成23年には、少し大げさですが、会社の運命を変える出会いがありました。ドイツのデュッセルドルフで行われていた安全用品の国際展示会に行った際、スポーツシューズで有名なプーマがセーフティーシューズのブースを出していました。日本に戻ってからメールで何度か取引を申し込んで、初めてのコンタクトから1年半ほど経過した頃突然先方から連絡がきて、すぐにドイツに飛んでいきました。熱意が通じたのか2回目の訪問で販売契約までこぎつけることができました。今では、新商品のデザインから企画までこちらに任せてくれています。そして会うたびにユニワールドとパートナーになれて良かったと喜んでくれています。これからもこの良いパートナーシップが続けられるよう頑張っていこうと思います。

創業して20年、様々な出会いがあり、今こうして独り歩きできるようになりました。私が理想と考えている会社は「日本一仕事をしたい会社」「日本一働き甲斐のある会社」です。まだまだほど遠いですが、60才になるまでのあと5年のうちに全社員にそう思ってもらえる会社になりたいと考えています。

そして、魂を磨いて、生まれた時よりも少しでもましな人間になって死ぬるよう、今はただ目の前の仕事に打ち込み、日々の仕事を精魂込めて一生懸命に行っていくと思っています。

閉会・点鐘 (中元会長)